

5月20日アナリスト向け決算説明会質疑応答(2013年3月期決算)

- Q. 為替の感応度と収益への影響度を教えてほしい。
- A. 為替感応度は、ドルが1円に対して約3億円となっている。収益に素直に効いてくる。
- Q. シート事業の14年3月期の売上は対前年比17%増になるが、その内容は？
- A. 地域的には中国とタイが伸びる。
- Q. DDSのシェアの状況とDSA比率について教えてほしい。
- A. DDSのシェアは12年度実績は41.5%であった。DSA比率は、12年のCQ3が約19%、CQ4が約27%だった。13年目標は35%としている。
- Q. DDSの減損の内容は？
- A. 減損額は約19.7億円。対象は設備が中心であり、駒ヶ根工場の設備比率で約1/3弱に相当する。減損による今期の償却費負担は約8億円軽減する見通し。
- Q. 14.3期の営業利益：380億円の達成確度は？
- A. 高い目標ではあるが、前提条件が大きく変わることがなければ、達成できると考えている。
- Q. 本日時点での上期業績の傾向はどうか？
- A. ほぼ予想の範囲で着地すると想定している。
- Q. 14.3期は研究開発費が増加しているが内容を教えてほしい。
- A. シートとばねで増やしている。新規開発に伴うエンジニアの増強も織り込んでいる。
- Q. 懸架ばねのコンパクトラインの国内と海外での導入状況について教えてほしい。
- A. 12年に東北に巻ばねのコンパクトラインを導入した。日本で完成度を上げてから海外へ展開していきたい。
- Q. 精密事業が営業利益で対前期比約70億円弱のプラスになるが、その内容について教えてほしい。
- A. 前期はHDDの環境が厳しかった。今期は円安による為替影響と合理化効果、北米事業の黒字化などにより営業利益を計画している。

Q. HDD 台数の CQ1 の実績と CQ2 の実勢及び、今期のサスカウントについて教えてほしい。

A. CQ1 の HDD 台数は予想 : 130 百万台に対して、実績は 136 百万台であった。CQ2 の実勢は弊社予想を下回りそうだが、下期での回復を期待している。

サスカウントは 3.52 個で設定している。ヘッド数が増えて行くのは来期以降と想定している。

以上